

## 14 疾病分類別患者数

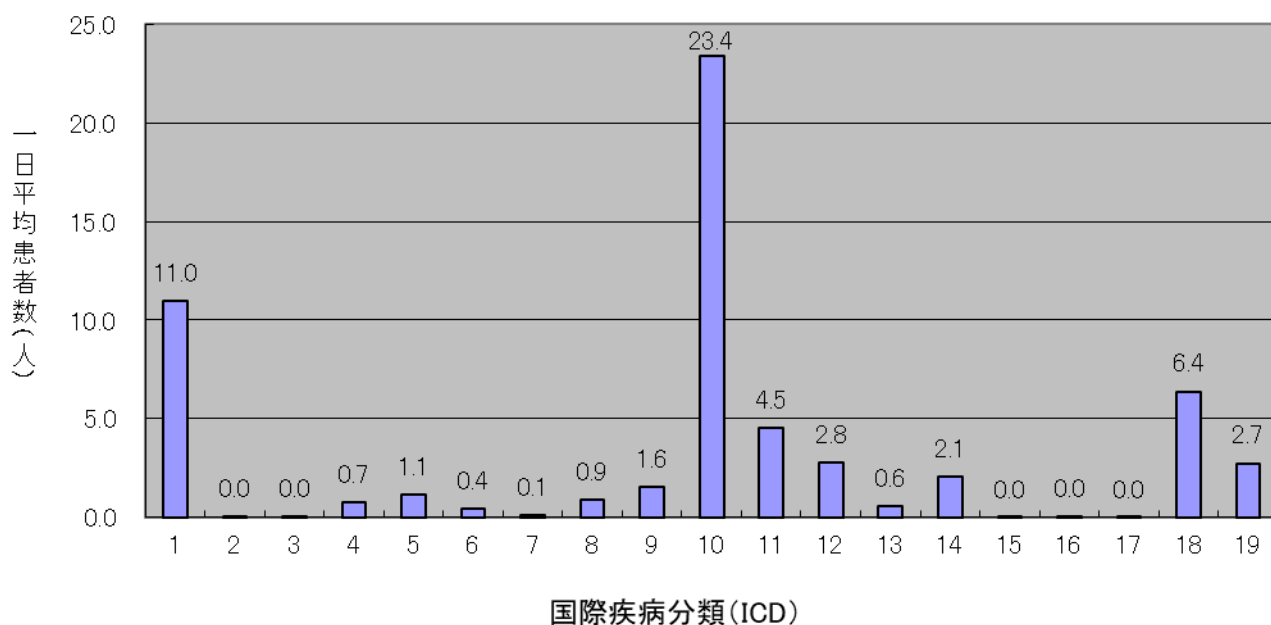
1日あたりの患者数を、国際疾病分類（ICD）別に見ると、「10 呼吸器系の疾患」と「1 感染症及び寄生虫症」が多く、この上位2疾患で全体の58.9%を占める。これらの主な内訳としては、「10 呼吸器系の疾患」が気管支喘息や肺炎等、小児科では「1 感染症及び寄生虫症」の感染性胃腸炎等である。

内科でよく見られる疾病の内訳は「11 消化器系の疾患」が胃腸炎や腸閉塞等、「9 循環器系の疾患」の心筋梗塞や狭心症、「14 尿路性器系の疾患」の尿路感染症や尿路結石等で、「5 精神及び行動の障害」は急性アルコール中毒等である。

また、小児科では「12 皮膚及び皮下組織の疾患」の中から、主にじんましん、「8 耳及び乳様突起の疾患」では、中耳炎が多くなっており、これらは内科と小児科の両方で見られる疾患である。このほか、同じ疾病分類でも、内科と小児科でそれぞれ異なっているものもあり、例えば「13 筋骨格系及び結合組織の疾患」では、内科の場合は筋肉痛や背部痛、小児科の場合は少数ではあるが、川崎病等が見られた。

なお、「19 損傷、中毒及びその他の外因の影響」は、内科ではアナフィラキシー、小児科では誤飲やアナフィラキシーで、そのほか、打撲等による外傷も、内科、小児科ともに多かった。

図表2-14-1 国際疾病分類(ICD)別に見た1日あたりの平均患者数(令和元年度)



図表 2-14-2 国際疾病分類（ICD）別に見た患者数の推移

（単位：人）

		平成 29 年度			平成 30 年度			令和元年度		
		患者数	比率 (%)	1 日平均	患者数	比率 (%)	1 日平均	患者数	比率 (%)	1 日平均
1	感染症及び寄生虫症	2,982	12.0	8.2	4,123	17.5	11.3	4,010	18.8	11.0
2	新生物	9	0.0	0.0	10	0.0	0.0	7	0.0	0.0
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	23	0.1	0.1	25	0.1	0.1	12	0.1	0.0
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	235	0.9	0.6	221	0.9	0.6	270	1.3	0.7
5	精神及び行動の障害	489	2.0	1.4	491	2.1	1.3	410	1.9	1.1
6	神経系の疾患	210	0.8	0.6	181	0.8	0.5	150	0.7	0.4
7	眼及び付属器の疾患	48	0.2	0.1	57	0.2	0.2	45	0.2	0.1
8	耳及び乳様突起の疾患	443	1.8	1.2	421	1.8	1.2	330	1.5	0.9
9	循環器系の疾患	667	2.7	1.8	650	2.8	1.8	574	2.7	1.6
10	呼吸器系の疾患	10,343	41.6	28.4	9,523	40.3	26.1	8,573	40.1	23.4
11	消化器系の疾患	3,837	15.4	10.5	2,250	9.5	6.2	1,649	7.7	4.5
12	皮膚及び皮下組織の疾患	1,080	4.3	3.0	1,120	4.7	3.1	1,022	4.8	2.8
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	254	1.0	0.7	253	1.1	0.7	209	1.0	0.6
14	尿路性器系の疾患	771	3.1	2.1	842	3.6	2.3	755	3.5	2.1
15	妊娠、分娩及び産じょく	1	0.0	0.0	3	0.0	0.0	2	0.0	0.0
16	周産期に発生した病態	8	0.0	0.0	5	0.0	0.0	9	0.0	0.0
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0.0	0.0	2	0.0	0.0	1	0.0	0.0
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,426	9.8	6.6	2,323	9.8	6.4	2,334	10.9	6.4
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,026	4.1	2.8	1,122	4.7	3.1	1,004	4.7	2.7
総 数		24,852	100.0	68.1	23,622	100.0	64.7	21,366	100.0	58.4